

## 法科学（－Legal Science－）

### I 教育の基本方針

興味があることを見出し、それについて探求する。それに際して、自分で考え、答えを導きだし、更に応用できることを目指す。

履修時は、社会人としての常識を有し、死者に対する尊厳を遵守すること。

### II 年次毎の到達目標

1年次	医療の現場で生じる様々な問題（医療過誤、医療事故、入院患者の予期しない死など）への法医学としての取り組みを習得する。
2年次	法医解剖等を介助することによって実際的な解剖技能と所見収取能力を身につける。 基本的な実験・実習技術を修得し、実験データの解釈や展開の仕方などの研究遂行能力を身につける。
3年次	計画に則って研究を実施し一定の成果を目指す。
4年次	法医認定資格取得あるいはそれと同等の能力の取得。 研究成果を原著論文にする。学位取得。

### III 担当教員・研究テーマ

教授	北村 修	法医病理学、薬物依存
准教授	桐生 京佳	法医病理学、ショック等の病態生理学

### IV 研究指導補助教員

講師 高篠 智 吉田昌記  
助教 武市敏明

### V 授業科目一覧

種別	科目名	単位	開講時期	標準履修年次
講義・演習	講義・演習	4	半期	1年次
実験・実習	実験・実習	8	通年	2年次又は、 1－2年次
専門分野 共通科目	課題研究	8	通年	3年次又は、 2－3年次
	研究論文演習	4	通年	3年次又は、 4年次

開講年度	2018	開講時期	半期	標準履修年次	1年次	単位	4
科目名	講義・演習						
担当教員	北村修、桐生京佳、高篠智、吉田昌記、武市敏明						
曜日・時限等	春学期：月曜日 3時限（13：15－14：45） 秋学期：火曜日 3時限（13：15－14：45）						
教室等	A セミナー室 B 法病理学研究室 C 法中毒研究 D 免疫学研究室						
教育の基本方針	広い見地に立った研究を遂行できるよう、法科学において必要とされる専門知識と技能を培う。						
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 異状死体に対する法的手続きを理解し、死体検案（外表検査）及び解剖に関する手技を習得する。</li> <li>2. 臨床医学及び病理学の知識に基づいて内因性急死、外因死の死因を診断できる能力を習得する。</li> <li>3. 法医学の実務で遭遇する多様な中毒に対し、主要な中毒原因物質に関する中毒の発生機序、生体試料からの中毒原因物質の検出法、死因との関わりなどを習得する。</li> <li>4. 個人識別や親子鑑定で利用される様々な遺伝形質やDNA型に関する基礎を学び、それらの検査法や活用法を習得する。</li> </ol>						
学習内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 医師法等の医事法に加え、刑事訴訟法を学び、異状死体の法的に取り扱いを学ぶ。</li> <li>2. 法医解剖例においてご遺体の外表検査及び諸臓器の所見の取り方、評価について学ぶ。</li> <li>3. 法医解剖関連する病理組織学的検査及び中毒学的分析に加え、DNA検査の原理、手法を学ぶ。</li> </ol>						
授業計画	回数	講義内容				春学期	秋学期
	第1回	法医学と医事法				04/16	09/25
	第2回	法医診断法①				04/23	10/02
	第3回	法医診断法②				05/07	10/09
	第4回	法医解剖①				05/14	10/16
	第5回	法医解剖②				05/21	10/23
	第6回	法医解剖③				05/28	10/30
	第7回	法医病理学①				06/04	11/06
	第8回	法医病理学②				06/11	11/13
	第9回	法医病理学③				06/18	11/20
	第10回	病理組織学的検査①				06/25	11/27
	第11回	病理組織学的検査②				07/02	12/04
	第12回	病理組織学的検査③				07/09	12/11
	第13回	内因性急死①				07/23	12/18
	第14回	内因性急死②				07/30	01/15
	第15回	内因性急死③				08/06	01/22
	第16回	臨床法医学①				10/01	04/16
	第17回	臨床法医学②				10/15	04/23
	第18回	臨床法医学③				10/22	05/07
	第19回	異状死体の死因①				10/29	05/14
	第20回	異状死体の死因②				11/05	05/21
	第21回	外表所見、肉眼的解剖所見				11/12	05/28
	第22回	薬毒物検査①				11/19	06/04
	第23回	薬物検査②				11/26	06/11
	第24回	法中毒学①				12/03	06/18
	第25回	法中毒学②				12/10	06/25
	第26回	法中毒学③				12/17	07/02
	第27回	法医遺伝学①				01/07	07/09
	第28回	法医遺伝学②				01/21	07/23
	第29回	法医遺伝学③				01/28	07/30
	第30回	死体検案書・鑑定書				02/04	08/06
口頭試問を行い、フィードバックは試問終了後に解説を行う。							

<p>準備学習と 授業外 の学習方法</p>	<p>授業計画のテーマについて事前に文献などを調べてくること。 学習指導書等に挙げた文献・参考書等を学期中に読むこと。 専門領域における他科のカンファレンスに参加し知識を深める。 CITI Japan(e-learning)の医学研究者標準コース(15単元)を受講すること。</p>
<p>学習指導書 (テキスト・参考文献等)</p>	<p>Michael J. Shkrum, David A. Ramsay: Forensic Pathology of Trauma, Humana Press 舟山真人、笹野公伸、斉藤一之：病理医にも役立つ法医解剖入門、文光堂 Anthony T・Tu：中毒学概論－毒の科学－、じほう 日本薬学会編：薬毒物試験法と注解2006－分析・毒性・対処法－、東京化学同人 勝又義直：DNA鑑定－その能力と限界、名古屋大学出版会 必要に応じて資料や論文を紹介する。</p>
<p>成績評価 方法</p>	<p>学習態度（50％）とレポート提出（50％）</p>
<p>成績評価 基準</p>	<p>21ページ「9.成績評価」又は、以下URLの「5.成績評価」を参照 <a href="http://www.kyorin-u.ac.jp/univ/graduate/medicine/aboutus/outline/">http://www.kyorin-u.ac.jp/univ/graduate/medicine/aboutus/outline/</a></p>
<p>備考</p>	<p>履修時は、社会人としての常識を有し、死者に対する尊厳を遵守すること。 ※開講日（秋入学）の16～30回は平成30年度4月からの開講予定です。 上記の日時に参加できない者は、協議の上で具体的な時間割を決定する。 質問等の受付は随時。</p>

開講年度	2018	開講時期	通年	標準履修年次	2年次又は、1-2年次	単位	8
科目名	実験・実習						
担当教員	教室全員、又は研究テーマにより決定する。						
曜日・時限等	原則として、毎週火・木曜日の3・4時限（13：00－16：30） 解剖については、その都度時間を連絡する。 ※参加が難しい場合には各ケースで協議のうえ具体的な時間割を決定する。						
教室等	セミナー室、解剖室、法病理学研究室、法中毒研究室、免疫学研究室						
教育の基本方針	法医学分野の研究において、独立した研究者として研究を進める為に必要となる実験手技を修得する。						
到達目標	法医解剖の実務を通して、外表所見、肉眼的解剖所見、病理組織学的検査、薬毒物検査などの結果を総合的に判断し、死因を診断すると共に、死体検案書を作成し、司法解剖の場合は鑑定書を作成できる能力を養う。						
学習内容	法医解剖の実務を通して、具体的な知識、技術を習得する。						
授業計画	第1回－第120回 法医解剖を通しての到達目標の達成 口頭試問を行い、試験終了後に解説を行う。						
準備学習と授業外の学習方法	学習した実験手技を繰り返し行い、安定で信頼性の高い技術を修得する。 研究テーマに沿った原著論文を読み疑問点を抽出すること。 学習指導書等に挙げた文献・参考書等を学期中に読むこと。 専門領域における他科のカンファレンスに参加し知識を深める。						
学習指導書 (テキスト・参考文献等)	Michael J. Shkrum, David A. Ramsay: Forensic Pathology of Trauma, Humana Press 舟山真人、笹野公伸、斉藤一之：病理医にも役立つ法医解剖入門、文光堂 Anthony T・Tu：中毒学概論－毒の科学－、じほう 日本薬学会編：薬毒物試験法と注解2006－分析・毒性・対処法－、東京化学同人 勝又義直：DNA鑑定－その能力と限界、名古屋大学出版会 必要に応じて資料や論文を紹介する。						
成績評価方法	学習態度（50％）とレポート提出（50％）						
成績評価基準	21ページ「9.成績評価」又は、以下URLの「5.成績評価」を参照 <a href="http://www.kyorin-u.ac.jp/univ/graduate/medicine/aboutus/outline/">http://www.kyorin-u.ac.jp/univ/graduate/medicine/aboutus/outline/</a>						
備考	履修時は、社会人としての常識を有し、死者に対する尊厳を遵守すること。 上記の日時に参加できない者は、協議の上で具体的な時間割を決定する。 質問等の受付は随時。						

開講年度	2018	開講時期	通年	標準履修年次	3年次又は、2-3年次	単位	8
科目名	課題研究						
担当教員	教室全員、又は研究テーマにより決定する。						
曜日・時限等	履修者の研究内容によって個別に指導を行う。 ※参加が難しい場合には各ケースで協議のうえ具体的な時間割を決定する。						
教室等	セミナー室、解剖室、法病理学研究室、法中毒研究室、免疫学研究室						
教育の基本方針	担当教官の指導の下、研究テーマを設定し、研究計画を立案し、研究を遂行し、結果をまとめ、発表する。						
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 自らが立案した研究計画にそって研究を実行できる。</li> <li>2. 正しく統計処理ができる。</li> <li>3. 結果を科学的に図表にまとめられる。</li> <li>4. 実験内容を正しく記載し記録できる。</li> <li>5. 追加実験を自分で立案できる。</li> <li>6. 学会や医学研究科の研究報告会で発表できる。</li> </ol>						
学習内容	先行研究をもとに研究テーマ設定し、研究計画を立て、研究を遂行し、研究結果を科学的に記述し、考察を加え、学会で研究発表する。						
授業計画	第 1- 10回 先行研究ならびに研究テーマの設定 第11- 15回 研究（実験）方法の検討 第16- 90回 研究（実験）の遂行 第91- 95回 追加研究（実験）の検討 第96-120回 追加研究（実験）の遂行 課題研究のフィードバックは、立案から発表までの各段階でコメントする。						
準備学習と授業外の学習方法	学習した実験手技を繰り返し行い、安定で信頼性の高い技術を修得する。 研究テーマに沿った原著論文を読み疑問点を抽出すること。 学習指導書等に挙げた文献・参考書等を学期中に読むこと。 専門領域における他科のカンファレンスに参加し知識を深める。						
学習指導書 (テキスト・参考文献等)	課題に応じて、必要な資料や論文を紹介する。						
成績評価方法	研究成果の発表（100%）						
成績評価基準	21ページ「9.成績評価」又は、以下URLの「5.成績評価」を参照 <a href="http://www.kyorin-u.ac.jp/univ/graduate/medicine/aboutus/outline/">http://www.kyorin-u.ac.jp/univ/graduate/medicine/aboutus/outline/</a>						
備考	履修時は、社会人としての常識を有し、死者に対する尊厳を遵守すること。 上記の日時に参加できない者は、協議の上で具体的な時間割を決定する。 質問等の受付は随時。						

開 講 年 度	2018	開 講 時 期	通 年	標 準 履 修 年 次	3年次又は、4年次	単 位	4
科 目 名	研究論文演習						
担 当 教 員	教室全員、又は研究テーマにより決定する。						
曜 日 ・ 時 限 等	履修者の研究内容によって個別に指導を行う。 ※各ケースで協議のうえ具体的な時間割を決定する。						
教 室 等	セミナー室、解剖室、法病理学研究室、法中毒研究室、免疫学研究室						
教 育 の 基 本 方 針	担当教官の指導の下に、自ら研究成果を科学論文としてまとめる。						
到 達 目 標	1. 研究の成果を原著論文とする。 2. 国内外の学会、ポスターセッション、症例報告会等で発表を行い、質問者からの問いに適切に答えられるようにする。 3. 博士論文の完成						
学 習 内 容	1. 研究成果を学会等で発表するためのまとめ方を学ぶ。 2. 研究成果を論文投稿するためのまとめ方を学ぶ。 3. 研究成果を学位論文としてまとめる。						
授 業 計 画	第 1- 5回 論文データ収集 第 5-10回 論文データ統計解析 第 11-25回 投稿論文作成 第 26-30回 学位論文作成 研究論文作成までの各段階で添削することによりフィードバックを行う。						
準備学習と授業外の学習方法	毎回、指導された内容に基づき、論文原稿の当該箇所を修正しておく。						
学習指導書 (テキスト・参考文献等)	研究論文に応じて、必要な資料や参考文献を紹介する。						
成 績 評 価 方 法	論文の作成 (100%)						
成 績 評 価 基 準	21ページ「9.成績評価」又は、以下URLの「5.成績評価」を参照 <a href="http://www.kyorin-u.ac.jp/univ/graduate/medicine/aboutus/outline/">http://www.kyorin-u.ac.jp/univ/graduate/medicine/aboutus/outline/</a>						
備 考	履修時は、社会人としての常識を有し、死者に対する尊厳を遵守すること。 上記の日時に参加できない者は、協議の上で具体的な時間割を決定する。 質問等の受付は随時。						